

特別展

伝統の技、
革新の表現
— 堺の竹工芸 —

前田竹房齋
田辺竹雲齋



初代 田辺竹雲齋
「柳里恭花籠」個人蔵



二代 前田竹房齋
「花籠 球」堺市蔵

平成29年 平成30年
12月23日(土)~1月28日(日)

午前9時~午後6時 入館は午後5時30分まで
休館日 1月15日(月)・16日(火)、年末年始(12/29~1/3)

さかい利晶の杜 企画展示室 主催：堺市

観覧料 一般：300円 高校生：200円 小中学生：100円

「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券で企画展示室にもご入場いただけます。

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

TOKYO 2020
応援プログラム



特別展

革新の表現 — 堺の竹工芸 —

前田竹房齋
田辺竹雲齋



四代 田辺竹雲齋「つなかり 無限」個人蔵

竹は古来より人々の身近な素材として豊富にあり、丈夫で弾力性に富む特性から、様々な生活用具として加工されてきました。

近世に「茶の湯」が隆盛したことで、竹工芸は飛躍的な展開期を迎えます。堺が生んだ茶道の大成者である千利休は、魚籠を茶道具の「花入れ」に見立て、竹に美を見出しました。さらにその後、中国から渡来した煎茶道が流行し、文人たちの憧憬を反映した多様な竹工芸が茶道具として幅広く用いられるようになりました。このような需要の高まりから、明治時代にかけて、堺を中心に優れた竹工の専門職である籠師が多く集まり、活躍の場を広げていきました。

本展では、堺で歴代にわたり綿々と受け継がれてきた前田家と田辺家の竹工芸をご紹介します。伝統技法を生かしつつ、新たな創作により芸術の域にまで昇華させた、竹に込められた美の息吹を感じていただければ幸いです。



初代 前田竹房齋「鳳尾竹円窓花籠兼釣花籠」堺市蔵



二代 前田竹房齋「七宝編花籠」堺市蔵



初代 田辺竹雲齋「柳里恭式釣花籠」堺市蔵



二代 田辺竹雲齋「富貴花籠」個人蔵



三代 田辺竹雲齋「未来への歓喜」個人蔵

講演会&実演

堺出身で世界的な竹工芸家の四代田辺竹雲齋氏をお招きし、堺の竹工芸の歴史や堺で明治から続く四代にわたる田辺竹雲齋の作品について、実演を交えながらお話をうかがいます。

- ◆日時 平成30年1月6日(土) 14時～15時30分
- ◆講師 四代 田辺竹雲齋氏
- ◆会場 さかい利晶の杜 茶室
- ◆参加費 無料
- ◆定員 40名

花かごワークショップ

竹ひごを使って、最も基本的な四つ目編みという編み方で花かごを作ります。はじめは四つ目編みで制作し、途中からは編み方次第でオリジナルの花かごを制作できます。(初めての方でも制作可能です。)

- ◆日時 平成30年1月7日(日) 14時～16時
- ◆講師 田辺家弟子の方々
- ◆会場 さかい利晶の杜 講座室
- ◆参加費 1,000円
- ◆定員 12名(小学校第五学年以上)

申込方法

ハガキかファックス、電子メールに、氏名、住所、電話番号、申込人数(2名様まで)、年齢または学年、講演会またはワークショップのいずれか希望の方をご記入の上、下記までお申込みください。
※12月20日(水)必着、応募多数の場合は抽選により決定し、全員にハガキで結果を通知します。

〒590-0078
堺市堺区南瓦町3番1号
堺市文化課 堺の竹工芸 係

072-228-8174
bunka@city.sakai.lg.jp

SAKAI
RISHO
NO
MORI

さかい利晶の杜

Sakai Plaza of Rikyu and Akiko

千利休茶の湯館

茶の湯体験施設

与謝野晶子記念館

観光案内展示室

〒590-0958 堺市堺区宿院町西2丁1-1
TEL.072-260-4386 FAX.072-260-4725
http://www.sakai-rishonomori.com

さかい利晶の杜 検索

